

入山者の皆さんへ

- 野生動物との遭遇を回避するため、ラジオや熊鈴などを携帯してください。
- ペットを連れての散歩は絶対にお止めください。
- 樹木の伐採、土石や植物・動物・昆虫などの採取は禁止です。
- 湿原内での飲食は禁止です。
- 木道や連絡道路以外への踏み込み、カメラの三脚の設置はしないでください。
- 指定地内へ車両やスノーモービルでの乗り入れはできません。

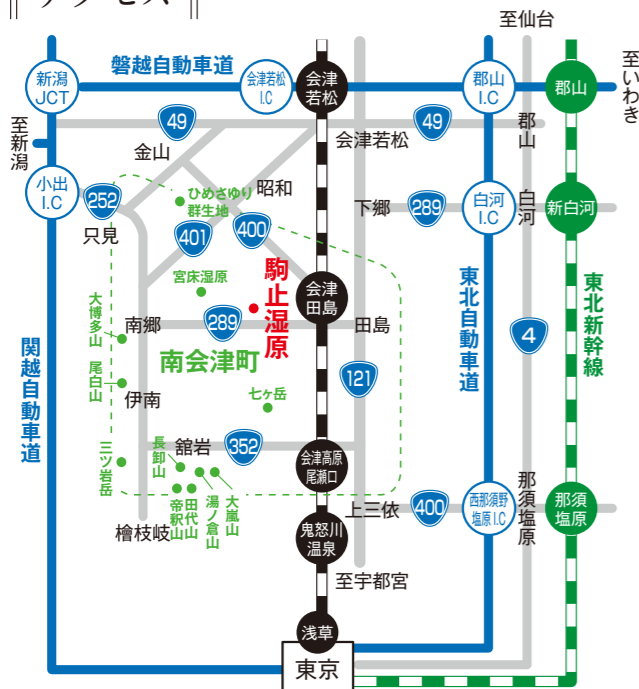


国指定天然記念物

駒止湿原

KOMADO MARSHY GRASSLAND

アクセス



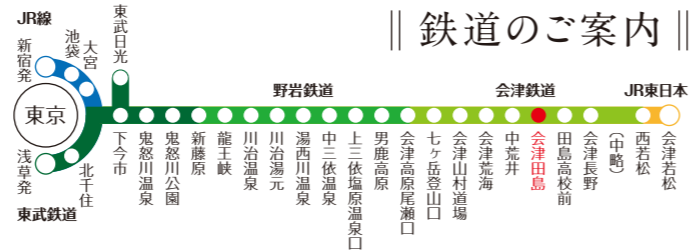
お車で
ご利用の方へ
交通の
ご案内

会津田島市街地から駒止湿原入口までの距離は1.6km
(時間にして約30分)です。
R289を進行して、途中「針生集落」に入り、旧針生小学
校を過ぎて道なりに進みます。旧駒止峠を登り、4km先
頂上付近手前の右手が「駒止湿原」入口です。(南会津
町側駐車場)
※大型車での入山は途中すれ違い困難のため、ご遠慮下さい。

駒止湿原
シャトル
タクシーの
ご案内

5月下旬～10月下旬 要予約・1名様以上催行
会津田島駅(9:00～13:30) → 駒止湿原・自由散策
→ 会津田島駅(17:00) [所要時間] 約3～5時間
◎料金 / 3,000円(往復)
◎受付 / みなみあいづ観光 TEL.0120-915-221

鉄道のご案内



南会津町観光物産協会

〒967-0006 福島県南会津郡南会津町永田字枇杷影 2
TEL 0241-62-3000 FAX 0241-62-2910
<http://www.kanko-aizu.com/>



駒止湿原案内の会事務局

TEL 0241-66-2286(渡部)
●認定ガイド(要予約・1団体5,000円～)



春

Spring

残雪とブナ林の新緑から始まり、それに続くようにミズバショウ・ショウジョウバカマ・リュウキンカが次々と湿原に彩を添えます。なかでも、2枚の白い仏炎苞で花弁を包む形の特異なミズバショウ『ソウホウミズバショウ』は全国的にも珍しく貴重です。また、周辺の木々からは春の訪れを感じさせるウグイスやカッコウのさえずりも聞こえてきます。



そうほう
双苞ミズバショウ

通常ミズバショウの仏炎苞は1枚ですが、駒止湿原では、仏炎苞が2枚ある『ソウホウミズバショウ』を見ることができます。珍しい姿のミズバショウを探してみてください。

駒止湿原のご案内とみどころ



大谷地

大谷地へ向かうブナ林では、雪の残る5月下旬にエゾハルゼミがにぎやかに鳴き始め、エゾスズリハ、ヒメモチ、ツルシキミ、ギンリョウソウなどの植物を観察することができます。木道に入ると水路沿いにはミズバショウが広がっています。また、7月中旬に咲くキンコウカの群落は圧巻です。



白樺谷地

ミズゴケの植生が素晴らしく、高層湿原の形態をよく表しています。ワタスゲが多く、ツルコケモモの美の形が違う(細長い実と丸い実)種類が生育しているのが特徴です。また、周縁はブナ林伐採後の二次植生となっており、なかでも伐採前から残る木々たちは異質な姿を見せてくれます。



水無谷地

高層湿原の原始生態系が維持されている学術的価値の高い湿原で、林床にはハクサンシャクナゲ、アカミノイヌツゲなどの亜高山～高山性の低木が繁茂しています。湿原の中には、水流中に生育するハリミズゴケや高層湿原の特性を表すチャミズゴケなどの生育があります。



初夏を代表する植物はなんといってもワタスゲで、白い絨毯を敷いたような風景を湿原全体で見ることができます。そこにヒオウギアヤメ・ニッコウキスゲ・レンゲツツジなど色鮮やかな花たちが咲き誇り、訪れたものの心を惹きつけます。また、大谷地ではワタスゲの時期が終わると、キンコウカが湿原を黄色一色に染めます。

夏

Summer



		5月					6月					7月					8月					9月				
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
高層湿原植物	サワラン(アサヒラン)																									
	ツルコケモモ																									
	トキソウ																									
中間湿原植物	ミカヅキグサ																									
	モウセンゴケ																									
	キンコウカ																									
低層湿原植物	ショウジョウバカマ																									
	タテヤマリンドウ																									
	ワタスゲ(花穂)																									
低木層植物	ニッコウキスゲ																									
	エゾリンドウ																									
	アキノキリンソウ																									
低木層植物	ウメバチソウ																									
	ミズギク																									
	コオニユリ																									
低木層植物	トンボソウ類																									
	コバキケイソウ																									
	ヒオウギアヤメ																									
低木層植物	コバギボウシ																									
	ムシカサ(オオカメノキ)																									
	ムラサキヤシオツツジ																									
低木層植物	ウラボシ																									
	ケナシハクサンシャクナゲ																									
	ズミ																									
低木層植物	ヤナギラン																									
	ヒヨドリバナ																									
	レンゲツツジ																									

※開花状況は、気候により前後します。



秋

Autumn

湿原内のさまざまな植物が紅葉します。ズミやツルコケモモ・サワフタギなど個性豊かな結実に、ブナ林・カエデ・ヤマウルシが彩を添えています。シーズン最後には、エゾリンドウ・ウメバチソウを見ることができます。また、草紅葉の絨毯も目を見張る美しさです。



駒止湿原の紅葉



湿原内散策時間のご案内

全長 3,240m(片道) | 1時間15分~2時間



※表示時間はおおよそのものです。